

令和8年度
瑞穂市自治会連合会 自治会長研修
アンケート まとめ

日時:令和8年7月11日(土)
場所:瑞穂市民センター 大ホール

令和8年度 瑞穂市自治会連合会 自治会長研修 アンケート集計

	校区	生津	本田	穂積	牛牧	西	中	南	不明	合計
参加者数		6	7	18	16	6	3	3		59
アンケート回収数		5	3	9	9	5	1	3	4	39
1. 研修は目的にあったものでしたか？	はい	5	3	9	8	5	1	2	4	37
	いいえ	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. ワークショップでは活発な話し合いができましたか？	はい	5	3	9	8	5	1	3	4	38
	いいえ	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. あなた自身又は地域で「やってみたい」こと「やれたらいいな」と思うことが見つかりましたか？	はい	5	2	6	5	3	1	2	4	28
	いいえ	0	1	3	2	2	0	1	0	9
	未回答	0	0	0	2	0	0	0	0	2

4. 本日のワークショップで良かった点や気になったことがあったら教えてください。

ご意見
他の自治会でも同じように悩んでいることが分かって安心した。
やはり“役員のなり手不足”が最大の問題と改めて感じた。
旧巢南地域と旧穂積地域では、自治会の運営スタイルが異なると感じた。
自治会の規模によって課題も異なる。
ボランティア意識を育てる教育が必要だと感じた。
巢南地区の事例紹介が聞けて良かった。
他自治会の実情が聞けて参考になった。
敬老会や防災訓練など、実行委員会方式がよいと思った。
時間が足りず、改善案まで話し合えなかった。
話し合いはしたが、結果が出なかった。

5. 来年度以降の研修の実施方法等についてご提案があれば、ご記入ください。

ご意見
解決策まで何か提案できると良い。市レベルの答えが出ない形では時間の無駄になってしまう。
役員の担い手不足が一番の課題。誰でも役員ができるようにどうしたらいいか(業務の大半を外部委託し、役員しか出来ない業務を絞り込んで輪番制にするなど)を議論したかった。
自治会離れ(未加入)や、子ども会の休会・縮小についてもテーマにしてほしい。
ワークショップだけでなく、悩みや問題点を共有するフリーディスカッションの時間もあるとよい。
時間内でのグループ議論や発表の際、ベル等で時間を知らせる工夫は良かった。もう少し時間の確保もお願いしたい。
会場がさわがしいので、もう少し分散できれば良い。
LINE等を活用し、オンライン会合にしてほしい。
今回出た議事録や成果を整理して、次回に共有してほしい。
発表者が毎回同じ人に選ばれがちなので、他の方が嫌がって発表をしないため、現状を改善する方法を考えてほしい。
数年重ねることにより、より良くなっていくと思う。次回も数ヶ月後に期待している。

6. 各テーマで得た意見について

1. 役員の担い手不足の解決

仕事や健康上の理由で拒否する人もいるが、誰でも自治会長の仕事ができる環境づくりが大切。

過去には長期にわたり自治会長を務める方がいたが、現在はなり手がおらず、グループごとの輪番制(持ち回り)にしている。

高齢化を理由に役員を辞退し、同時に自治会を脱会する人もいるため、免除条件を設けた。

女性の活躍・登用も必要である。

自治会長の業務を効率化・分散し、自治会長自身は「最終判断をするだけ」の体制が理想である。

経験のない業務は負担が大きいため、市で自治会業務のマニュアルを作成してほしい。

西校区では自治会長や役員が集まる機会があり、共通の課題解決に向けた情報共有を頻繁に行っている。

自治会長の業務は、自治会内の取りまとめだけでなく行政とのやり取りもあり、これが負担となっている。平日の来庁は困難なため、土曜日にも窓口対応をしてほしい。

新任の自治会長は何をしてよいか分からない。引き継ぎが機能していない自治会もあるため、最低でも任期は2年必要と感じる。

自治会長の業務を副会長や会計に分担していく必要がある。

いずれにしても、役員の仕事を含めて「楽しい自治会運営」を目指していく必要がある。

特に世帯数が多い自治会は業務負担が大きい。

高齢化によるなり手不足に加え、若者と高齢者の確執、マンション管理の悩みなど、地域によって課題が異なる。

現状は自治会長を半強制的に割り当てる仕組みになっており、負担軽減が必要である。

役員を依頼する上でも日頃からのコミュニケーションが重要であり、人間関係が築けている地域でないと自治会運営はうまく回らない。

2. 自治会費等の効率的な集金方法

集金に伺っても不在が多い。在宅していても居留守を使われるなど、集金に苦労している。

区費、神社費、社会福祉協議会協力金、各種募金など集金内容が多岐にわたり、時期もバラバラなため回数が増えてしまう。集金時期を統一してほしい。

チクワアプリに電子集金機能はあるが、手数料が高額な点が課題。

PayPay(ペイペイ)で集金するには、契約のために地縁団体の法人化が必要になる。

3.ゴミステーションの管理について

ゴミ関係については市が明確な指示を示してほしい。

自治会非会員のゴミステーション利用、不法投棄、不燃物の排出方法が問題になっている。

市のルールが定まっていないため、自治会任せになっており困っている。

自治会から非会員への指導・教育は難しいため、市が指導を行うべき。

解決策として自治会独自のシールを発行し、そのシールを貼ったゴミだけを収集所に捨てるルールにすれば、心理的に非会員の利用が減るのではないか。

不法投棄対策として監視カメラを設置する。

一部の班では固定のゴミステーションがなく、班長の自宅前がゴミ収集所になり、毎年場所が変わっている。

ゴミステーションの清掃・分別用に、市から班長へゴミ袋を提供してほしい。

外国人対策として、ゴミの分別について多言語翻訳している「カタログポケット」のチラシを配布してほしい。

市に相談しても対応してもらえない。自治会のルールをどのように伝えるべきか苦慮している。

ゴミステーションの管理体制(自治会、組、市のどこが担うのか)が曖昧である。最終的な管理は市がすべき。

ゴミステーションの施工業者がわからず苦勞している。市で業者を何社か紹介してほしい。

4.ICTの活用について

市から統一フォーマットの提供があると良い。

自治会運営アプリCHIKUWA！（チクワ）を導入しているある自治会では、LINEと紙の「トリプルスタンダード」になっている。

明日の工事の案内など緊急で周知したい事項について役立っている。

ICTの運用には市の補助金が必要。